



病院長名	小寺 泰弘
	〒460-0001
所在地	愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
交通案内	名古屋市地下鉄名城線「名古屋城」下車徒歩1分

□ 病院の特徴

当院は開設依頼140余年の歴史を有し、前身は国立名古屋病院として国民のための医療を提供しつづけております。年間救急搬送台数7500台を超える第3次救急指定病院、都会型総合病院です。

また、当院は、わが国では数少ない臨床研究中核病院に選定されています。病床数は656床です。近隣は名城公園・名古屋城があり、街の中心に位置するにも関わらず喧騒からは離れた恵まれた環境にあります。

□ 研修プログラムの特徴

【名古屋医療センター救急科専門研修プログラム】

【研修期間】 3年

【研修目標】

地域の救急医療の中心的な役割として、他診療科や職種と連携しながら、あらゆる救急患者に適切な初期診療を行う。また、重症患者への集中治療やIVR等の手技も習得する。

【研修プログラム】

当院は救命救急センターを有し、名古屋市中心部から北西部を主にカバーします。重症患者の救急搬送が多く、内科系、外科系、中毒など幅広く経験できます。

ER・ICU・IVRの各専門医が常駐し、院内で各領域の研修が可能ですが、院内他科や連携施設での研修など希望に応じてプログラムを構築できます。

ICLSなどのシミュレーションや勉強会も盛んで研修医教育の中心的な役割を担います。また、臨床研究センターを併設し、研究計画作成や統計解析などサポートが受けられます。

(詳細はQRコードから)



□ 主な連携施設

【連携施設】名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、洛和会丸太町病院、倉敷中央病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、公立陶生病院、藤田医科大学岡崎医療センター、大垣市民病院

□ メッセージ

指導医 (救急集中治療科・ER室長 関 幸雄)

当院はこの地域の市中病院としては珍しく、救急部門にER医・ICU医・IVR医がスタッフとして揃っていて、ER診療からIVR、ICU管理まで一貫して診療することができます。重症患者も多く、疾患領域も幅広いことから救急の基礎を身につけるにはとても良い環境です。当院で経験の少ない領域は、上記のように全国の有名病院との連携でカバーしています。

診療、手技はもちろん教育、研究のことまで当院でできることはたくさんあります。各自の希望に応じたプログラムを提供できます。

救急医を目指す方、ぜひ一緒に研修しましょう！

□ 募集要項

・採用予定人数	5人
・給与／月額	403,200円(基本給)
・当直回数／月	2回
・当直料／回	20,000円
・その他	年収680万円～1,000万円
・応募連絡先	担当者 (給与係長) 森田 真菜美 電話番号 (052) 951-1111 Eメール morita.manami.hj@mail.hosp.go.jp